

DynaEye 10 帳票 OCR Entry

推奨帳票サンプル定義

導入手順書

請求書（BP1420）

1.0 版

株式会社 P F U

2020 年 10 月

■目次

はじめに.....	3
1. 動作環境	3
2. 対象帳票	4
3. 入出力仕様	5
3.1 スキャンパラメータ	5
3.2 認識データ出力.....	5
3.3 イメージ出力	6
4. 環境構築	7
4.1 ソフトウェアのインストール	7
4.2 定義セットの取り込み	7
4.3 スキャナ接続	10
4.4 スキャナ定義	11
4.5 出力定義の変更.....	13
5. 動作確認	14

はじめに

「推奨帳票サンプル定義」は、ヒサゴ社が販売する帳票を、DynaEye 10 帳票 OCR Entry を使って OCR するためのサンプル定義セットです。ヒサゴ社の帳票毎にサンプル定義をご用意しておりますので、対象帳票に合わせてご利用ください。

1. 動作環境

【PC】

OS	以下の日本語版オペレーティングシステム Windows 7 Professional/Enterprise/Ultimate Service Pack 1 以降 Windows 8.1 Pro/Enterprise Windows 10 Pro/Enterprise Creators Update 以降 Windows 10 Enterprise LTSC 2019
CPU	Intel®Core™ i5 1.6GHz 以上 推奨 Intel® Core™i5 第7世代以上（モバイル向けを除く）
メモリ	2GB 以上（推奨 4GB 以上）
ハードディスク	1GB 以上
必須環境	Visual C++ 2017 再頒布可能パッケージ（※）

（※）AI 日本語手書き OCR オプションのインストール時にインストールされます。

【スキャナ】

富士通 fi シリーズ イメージスキャナ

※ A4 以上読取可能で ADF（自動原稿送り機構）を備えている機種

【ソフトウェア】

- ・OCR ソフトウェア : DynaEye 10 帳票 OCR Entry V10.0L30
- ・スキャナドライバ : PaperStream IP (TWAIN) 2.10.3（32 ビット）

2. 対象帳票

推奨帳票サンプル定義では、ヒサゴ社が販売する帳票を対象とします。

●型番：BP1420

 ：読取位置

DynaEye EX - 書式定義

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 定義(T) オプション(O) ヘルプ(H)

請求書

6 郵便番号 3 年 年 4 月 月 5 日 日 締切分 No 2 番号

7 住所

8 得意先名

お客様コードNo 1 お客様コード 登録番号 9 登録番号

毎度ありがとうございます。下記の通り御請求申し上げます。

10 前回御請求額	11 御入金額	12 繰越金額
13 税率	14 対象金額計	15 消費税等1
16 税率	17 対象金額計	18 消費税等2
19 今回御請求額		

伝票日付	伝票No	品番・品名	数量	単位	単価	税率	税抜金額	備考
20	21	22 品番品名1	23	24	25 単価1	26	27 税抜金額1	28 備考1
29	30	31 品番品名2	32	33	34 単価2	35	36 税抜金額2	37 備考2
38	39	40 品番品名3	41	42	43 単価3	44	45 税抜金額3	46 備考3
47	48	49 品番品名4	50	51	52 単価4	53	54 税抜金額4	55 備考4
56	57	58 品番品名5	59	60	61 単価5	62	63 税抜金額5	64 備考5
65	66	67 品番品名6	68	69	70 単価6	71	72 税抜金額6	73 備考6
74	75	76 品番品名7	77	78	79 単価7	80	81 税抜金額7	82 備考7
83	84	85 品番品名8	86	87	88 単価8	89	90 税抜金額8	91 備考8
92	93	94 品番品名9	95	96	97 単価9	98	99 税抜金額9	100 備考9
101	102	103 品番品名10	104	105	106 単価10	107	108	109 備考10
110	111	112 品番品名11	113	114	115 単価11	116	117	118 備考11
119	120	121 品番品名12	122	123	124 単価12	125	126	127 備考12
128	129	130 品番品名13	131	132	133 単価13	134	135	136 備考13
137	138	139 品番品名14	140	141	142 単価14	143	144	145 備考14
146	147	148 品番品名15	149	150	151 単価15	152	153	154 備考15
155	156	157 品番品名16	158	159	160 単価16	161	162	163 備考16
164	165	166 品番品名17	167	168	169 単価17	170	171	172 備考17
173	174	175 品番品名18	176	177	178 単価18	179	180	181 備考18
182	183	184 品番品名19	185	186	187 単価19	188	189	190 備考19
191	192	193 品番品名20	194	195	196 単価20	197	198	199 備考20
200	201	202 品番品名21	203	204	205 単価21	206	207	208 備考21
209	210	211 品番品名22	212	213	214 単価22	215	216	217 備考22
218	219	220 品番品名23	221	222	223 単価23	224	225	226 備考23
227	228	229 品番品名24	230	231	232 単価24	233	234	235 備考24
236	237	238 品番品名25	239	240	241 単価25	242	243	244 備考25
245	246	247 品番品名26	248	249	250 単価26	251	252	253 備考26
254	255	256 品番品名27	257	258	259 単価27	260	261	262 備考27
263	264	265 品番品名28	266	267	268 単価28	269	270	271 備考28
272	273	274 品番品名29	275	276	277 単価29	278	279	280 備考29
281	282	283 品番品名30	284	285	286 単価30	287	288	289 備考30

ヘルプを表示するには[F1]を押してください。 (1, 77)

3. 入出力仕様

3.1 スキャンパラメータ

用紙サイズ	カスタム ※
画像タイプ	二値白黒
解像度	300dpi
読取面	表面（片面）

（※） PaperStream IP で用紙サイズ「自動選択」を選んだ場合この設定になります。

詳細な設定内容については 4.4 スキャナ定義 をご参照ください。

3.2 認識データ出力

出力形式	CSV
文字コード	Shift-JIS
出力内容	イメージ出力ファイル名、認識結果
出力先フォルダ（※）	C:¥Users¥Public¥Documents
ファイル名（※）	output.csv

（※） 出力先フォルダ・ファイル名は変更可。

◆ 出力項目一覧

No.	フィールド名	サンプル	備考
—	—	PG000001.PDF	イメージ出力ファイル名 フィールドとの対応なし
1	お客様コード	19861895	数字のみ
2	番号	42046	数字のみ
3	年	2023	数字のみ
4	月	2	—
5	日	8	—
6	郵便番号	220-8567	字種限定：-0123456789
7	住所	神奈川県横浜市西区みなとみ らい4-4-5	—
8	得意先名	P F U 御中	—
9	登録番号	T1234567890123	字種限定：0123456789T
10	前回御請求額	66,514	字種限定：, -.0123456789¥
11	御入金額	76,048	字種限定：, -.0123456789¥
12	繰越金額	¥9,534	字種限定：, -.0123456789¥
13	税率 1	8	字種限定：018

14	対象金額計 1	90,500	字種限定：,-.0123456789¥
15	消費税等 1	7,240	字種限定：,-.0123456789¥
16	税率 2	10	字種限定：018
17	対象金額計 2	320,400	字種限定：,-.0123456789¥
18	消費税等 2	320,040	字種限定：,-.0123456789¥
19	今回御請求額	450,180	字種限定：,-.0123456789¥
20	日付伝票 1	20/11/20	字種限定：/0123456789
21	伝票 No1	33150	—
22	品番品名 1	XF8Z えんぴつ	—
23	数量 1	7	字種限定：,0123456789
24	単位 1	箱	—
25	単価 1	1,500	字種限定：,-.0123456789¥
26	税率区分 1	08	字種限定：018
27	税抜金額 1	10,500	字種限定：,-.0123456789¥
28	備考 1	贈答用	—
29	日付伝票 2		以降「日付伝票」～「備考」繰返し
...
289	備考 30		—

【出力例】

```

"PG000000.PDF","19861895","42046","2023","2","8","220-8567","神奈川県横浜市西区みなとみらい4-4-5","P F U御中","T1234567890123","66,514","76,048","¥9,534","8","90,500","7,240","10","320,400","32,040","450,180","20/11/20","33150","X F 8 Z えんぴつ","7","箱","1,500","08","10,500","","20/11/20","58659","5 9 B U アイス","19","箱","3,840","08","72,960","","20/11/20","57406","B C C Q 梅干し","11","箱","640","08","7,040","贈答用","20/11/20","52734","I C レコーダー","18","点","16,550","10","297,900","黒","","",""
"","","","","","","","","","","","","","","","","","","","","","","","","","","","","","","","","","","","",""

```

3.3 イメージ出力

出力形式	PDF
出力先フォルダ（※1）	C:¥Users¥Public¥Documents
ファイル名（※1）	PGnnnnnnn.PDF（※2）
ファイル出力単位	1 ページ毎
解像度（※3）	300dpi
圧縮率（※3）	4

（※1）出力先フォルダは変更可。ファイル名は先頭文字（“PG”）のみ変更可。

（※2）nnnnnnn は自動生成の連番。

（※3）解像度と圧縮率は変更可。

4. 環境構築

4.1 ソフトウェアのインストール

「1. 動作環境」の【ソフトウェア】に記載のあるソフトウェア（DynaEye 10 帳票 OCR Entry、PaperStream IP）をインストールします。インストールの手順は各製品のマニュアルを参照してください。

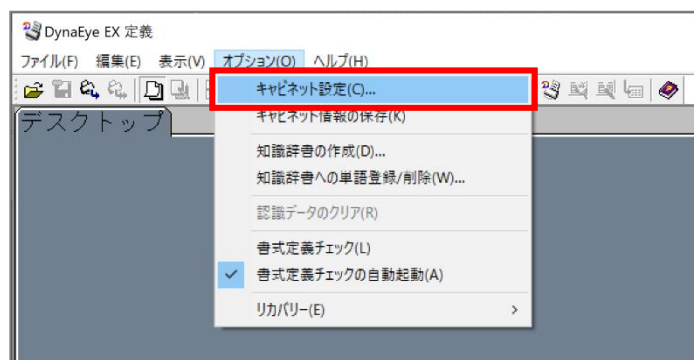
4.2 定義セットの取り込み

(1) キャビネット作成（作業スペースの作成）

- ① スタートメニューから、[DynaEye 10 標準アプリケーション]-[定義画面] を選択します。

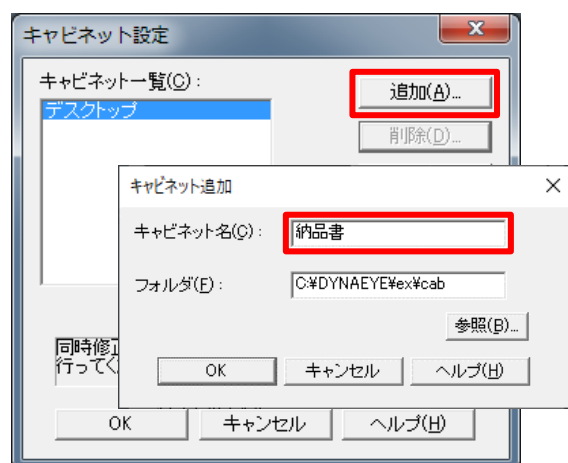
⇒ DynaEye 10 標準アプリケーションの定義画面が表示されます。

- ② [オプション]-[キャビネット設定]を選択します。



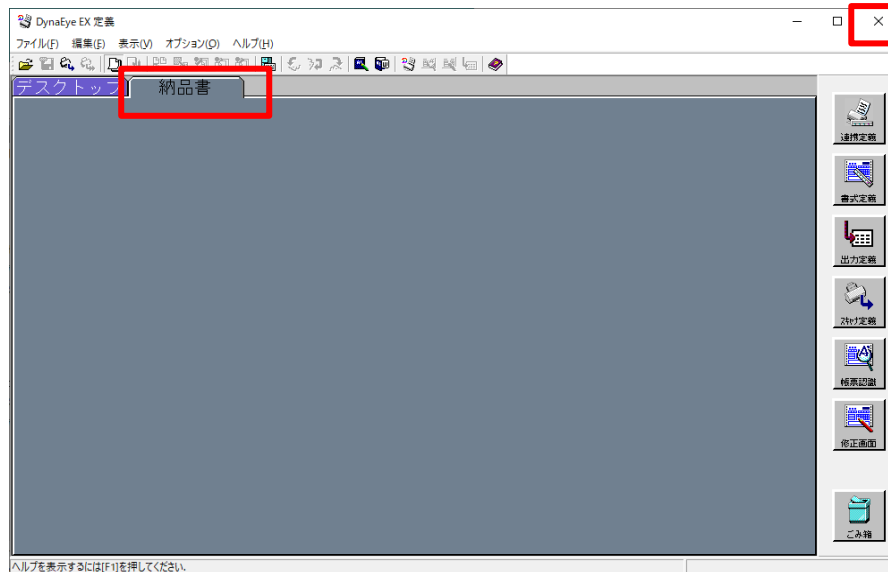
⇒ キャビネット設定ダイアログが表示されます。

- ③ [追加]ボタンを選択し、キャビネット追加ダイアログでキャビネット名（任意）を入力して[OK]ボタンを選択します。続けてキャビネット設定ダイアログの[OK]ボタンを選択します。



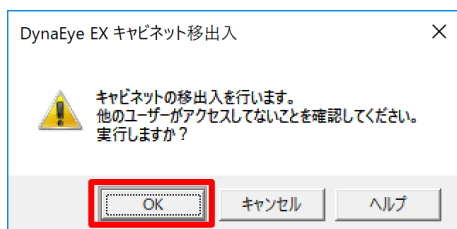
※ キャビネット名は自由に設定可能です。
今回は「納品書」として設定しています。

- ④ キャビネットが追加されたことを確認し、標準アプリケーションを終了します。



(2) キャビネット移入（定義ファイルの取り込み）

- ① スタートメニューから、[DynaEye 10 標準アプリケーション]-[キャビネット移出入] を選択します。
- ② [OK]ボタンを選択します。

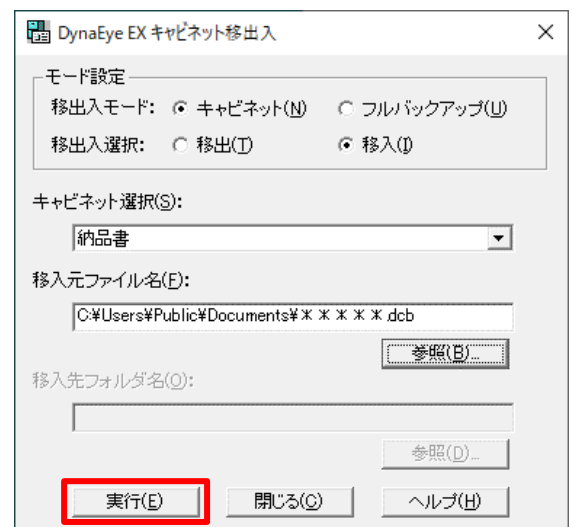


⇒ キャビネット移出入が表示されます。

- ③ 以下のように設定し、[実行]ボタンを選択します。

＜モード設定＞

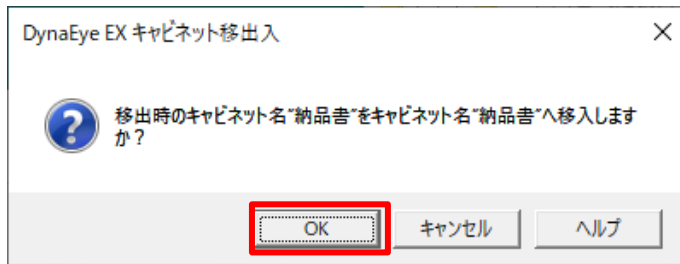
- ・ 移出入モード： キャビネット
- ・ 移出入選択： 移入
- ・ キャビネット選択： 「(1)キャビネット作成」で作成したキャビネット
- ・ 移入元ファイル名：
サンプル定義の【(2)書式定義ファイル】フォルダ内のファイルを選択



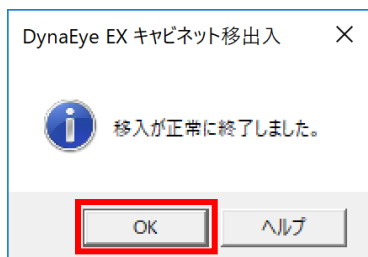
※ファイル名は読み取り対象のフォントと対応しています。

帳票に印字するフォントと同じものを選択してください。

- ④ [OK]ボタンを選択します。



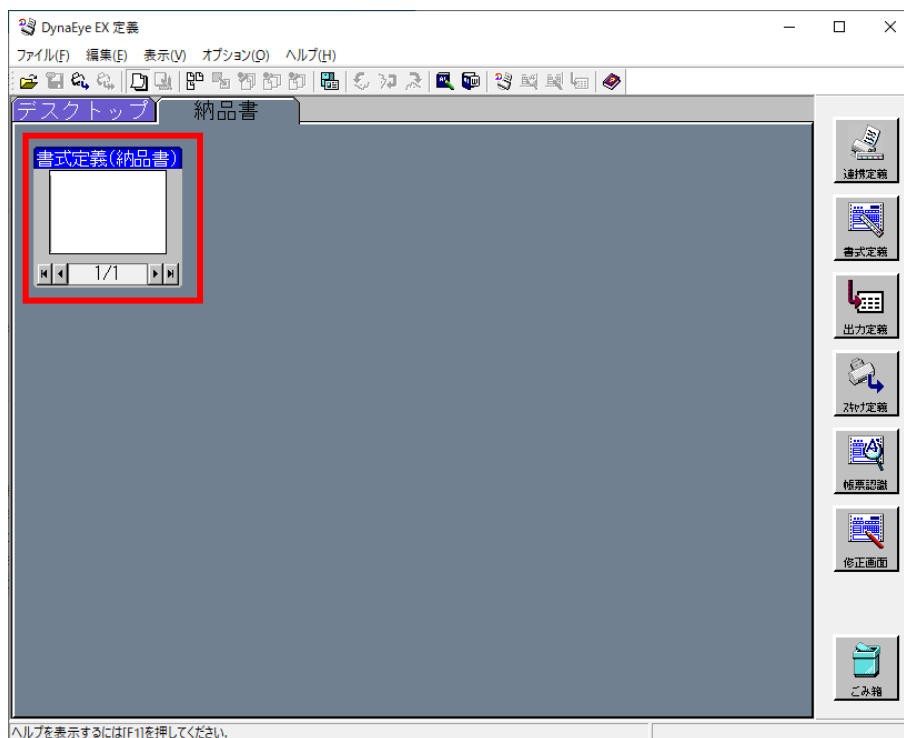
- ⑤ [OK]ボタンを選択します。



- ⑥ キャビネット移出入の[閉じる]ボタンを選択し、キャビネット移出入を終了します。

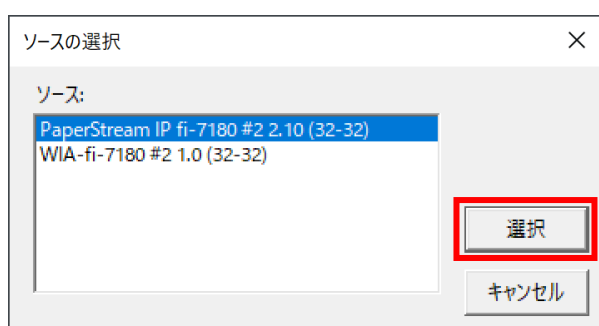
DynaEye 10 標準アプリケーションの定義画面を起動し、(1)で作成したキャビネットに「書式定義」が追加されたことを確認します。

(画像はサンプルであり、対応する帳票によってタイトルや画像は異なります。)




4.3 スキャナ接続

- ① PC とスキャナを接続し、スキャナの電源を入れます。
※ PC とスキャナの接続方法はスキャナのマニュアルを参照してください。
- ② DynaEye 10 標準アプリケーションの定義画面で、[ファイル]-[スキャナ選択]を選択します。
- ③ ソースの選択ダイアログが表示されるので、ソースから「PaperStream IP xxx」を選択し、[選択]ボタンを選択します。
※ 「xxx」部分は接続するスキャナの機種によって異なります。



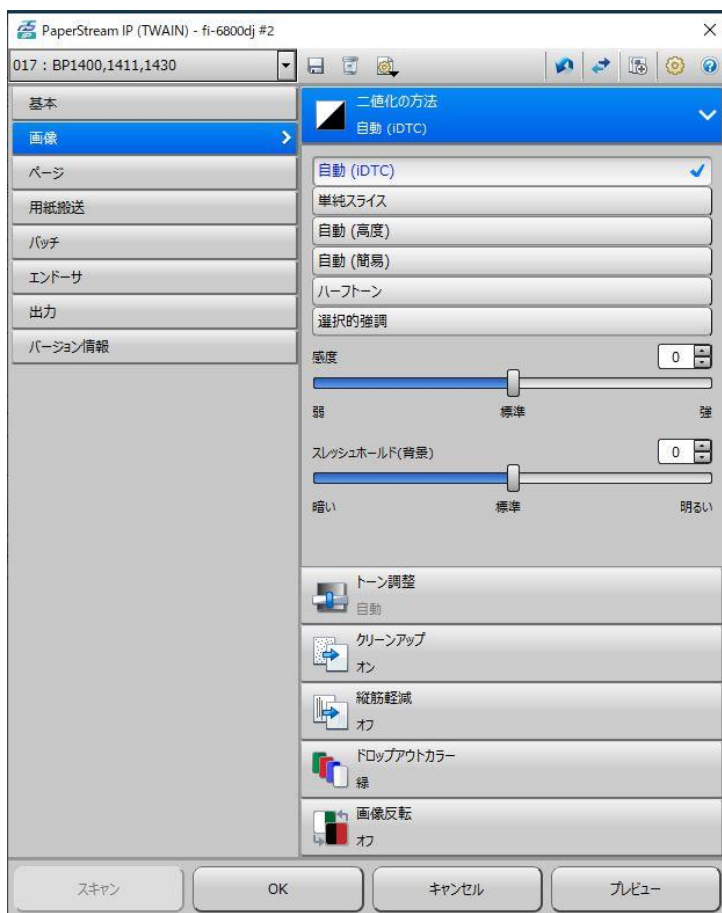
4.4 スキャナ定義

- ① DynaEye 10 標準アプリケーションの定義画面で、[ファイル]-[スキャナ定義]を選択します。
- ② スキャナ定義画面が表示されるので、[TWAIN 画面を表示する]にチェックし、[OK]ボタンを選択します。

- ③ [ファイル]-[スキャナ読み取り]-[新規]を選択し、PaperStream IP の設定画面を表示します。
- ④  のアイコンをクリックし、PaperStream IP の詳細設定画面を表示します。
- ⑤ 帳票の型番に応じて、以下の設定を行います。

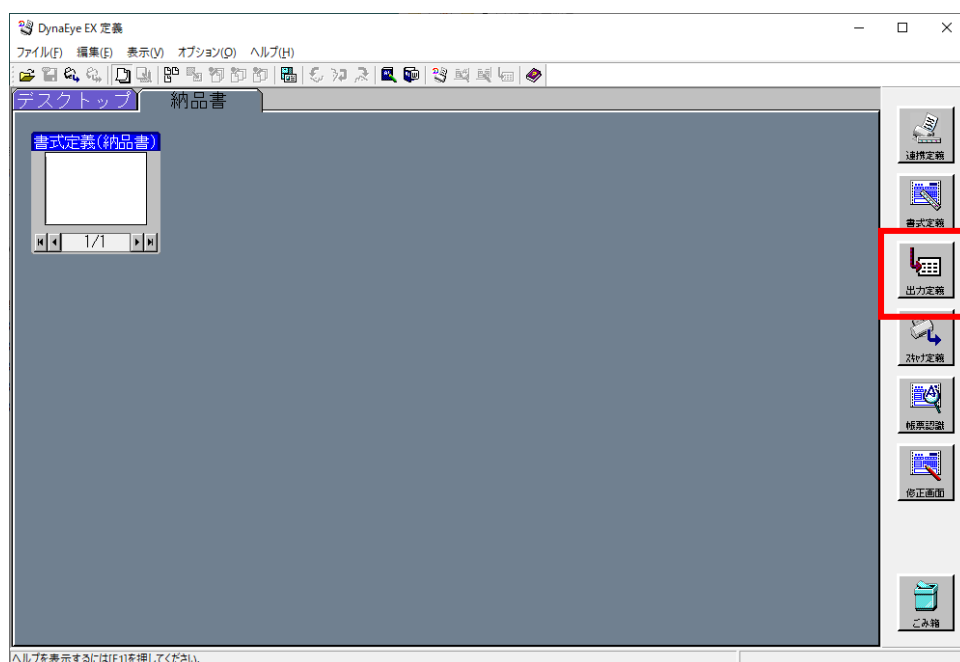
型番	二値化の方法	パラメータ
BP1400, BP1411, BP1430	自動 (iDTC)	感度 : 0 スレッシュホールド (背景) : 0
BP1420	自動 (iDTC)	感度 : -10 スレッシュホールド (背景) : 0
BP1450, BP1460	自動 (簡易)	感度 : 2

- ⑥ [OK]ボタンを押して保存し処理を続行します。スキャナーに給紙が無ければその旨通知されます。

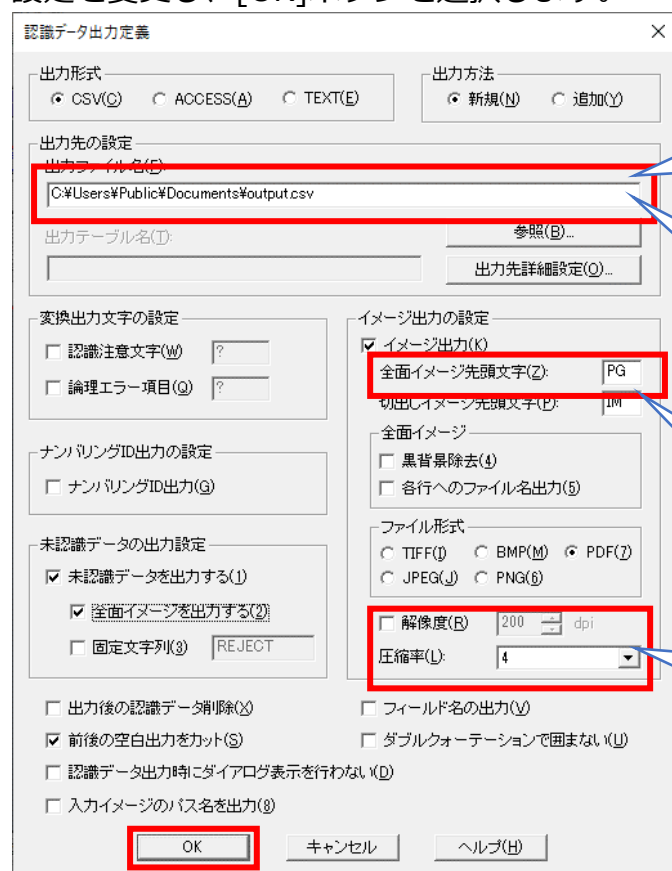


4.5 出力定義の変更

- ① DynaEye 10 標準アプリケーションの定義画面で、[出力定義]ボタンを選択します。



- ② 設定を変更し、[OK]ボタンを選択します。



出力先 (CSV,PDF 共通)

「出力ファイル名」のパスを
任意のフォルダに変更。

CSV ファイル名

「出力ファイル名」のファイル
名を任意のファイル名に変更。

PDF ファイル名 (先頭文字)

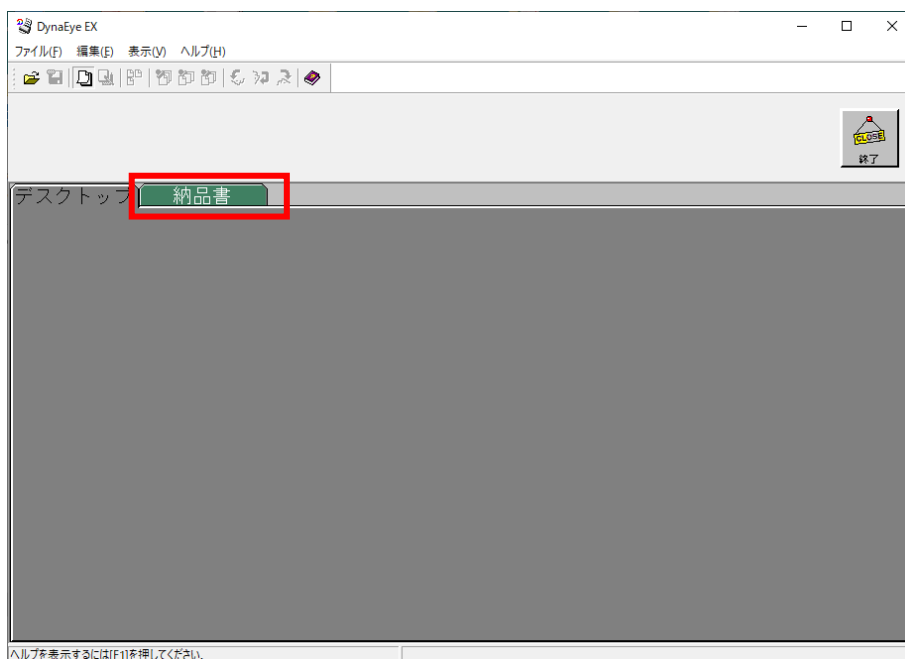
「全面イメージ先頭文字」を
任意の文字に変更。(2 文字)

イメージ品質

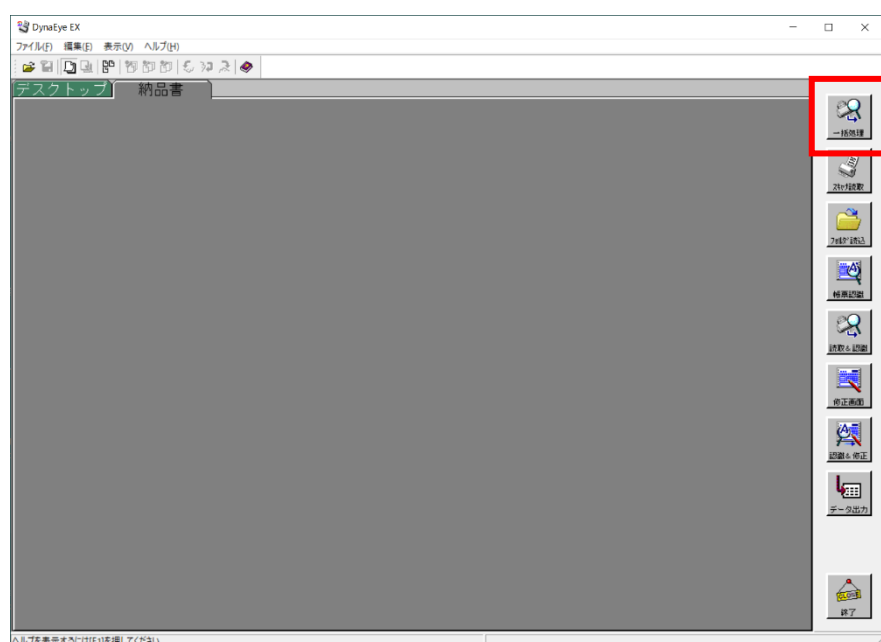
出力するイメージファイルの解
像度と圧縮率を指定。

5. 動作確認

- ① スタートメニューから、[DynaEye 10 標準アプリケーション]-[運用画面] を選択します。
⇒ DynaEye 10 標準アプリケーションの運用画面が表示されます。
- ② 「4.2 定義セットの取り込み」で作成したキャビネット名のタブを選択し、キャビネットを切り替えます。

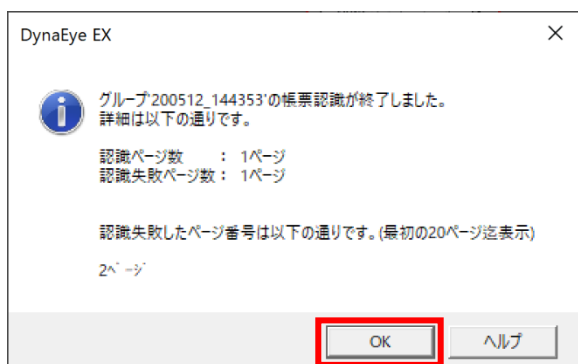


- ③ スキャナに帳票をセットします。
- ④ [一括処理]ボタンを選択します。



⇒ スキャナ読取が始まり、続けて帳票認識が行われます。

⑤ [OK]ボタンを選択します。



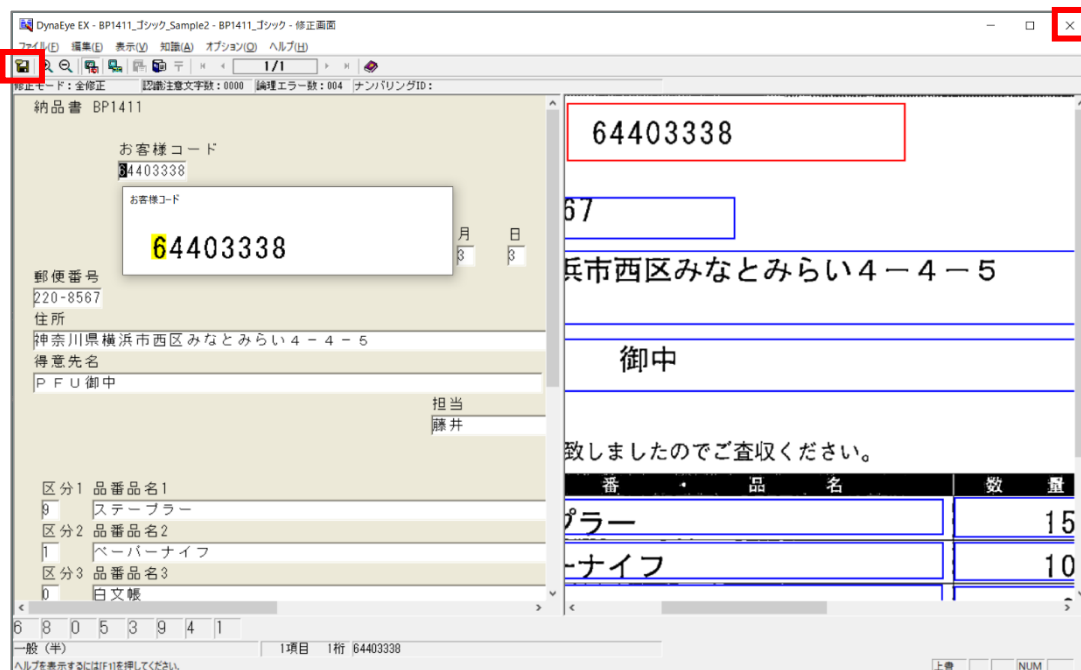
※ 書式定義と異なる帳票は、認識失敗ページとしてカウントされます。

⇒ 修正画面が表示されます。

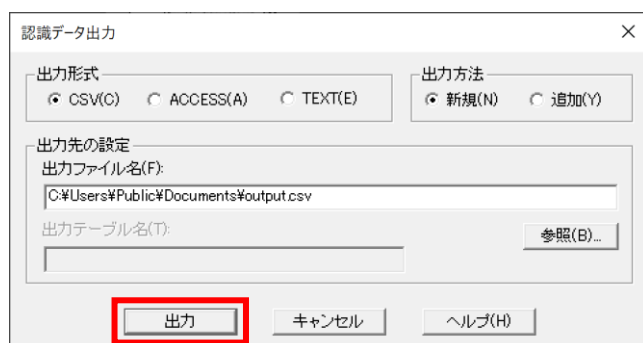
⑥ 確認・修正を行い、上書き保存します。

すべてのページで確認・修正を行い、完了後、修正画面を終了します。

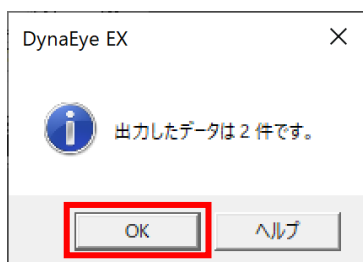
(画像はサンプルであり、対応する帳票によって画面は異なります。)



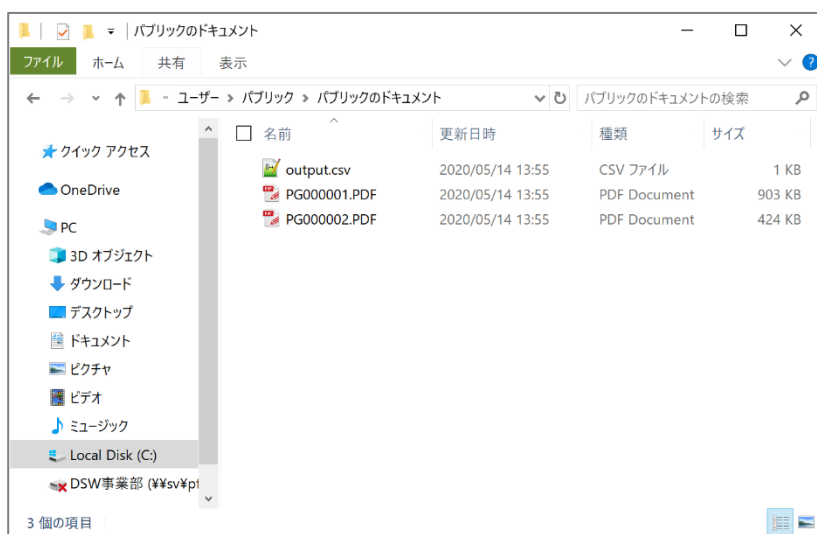
⑦ 認識データ出力ダイアログが表示されるので、[出力]ボタンを選択します。



- ⑧ [OK]ボタンを選択します。



- ⑨ エクスプローラーで出力先フォルダを開き、データが出力されていることを確認します。



— 以上 —